

令和5年度 年間計画・評価計画

教科	美術	学年	第1学年
----	----	----	------

【教科の目標】

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- (3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

【年間指導計画】

学期	月	単元・題材	学習活動
1	4 5	見つめると 見えてくるもの ～感じ取ったことを スケッチに～	・形や色彩、明暗、質感などに着目し、特徴、印象、美しさをとらえ、線の強さや水加減などを工夫して表す。 ・身近なものの特徴や美しさなどをもとに、形や色彩、質感などの工夫を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。
1	5	美のタイムトラベル ～原始の表現に 出会う～	・形や色彩、模様、材料や場所に着目し、印象などをとらえる。 ・原始美術の造形的なよさや美しさ、当時の人々の願いや、作者の意図と工夫、美術文化について考え、鑑賞する。
1	6 7	なぜか気になる情景 ～あなたなりの 視点で描く～	・形や色彩、全体の様子などに着目し、そこから生じるイメージをとらえ、絵の具の使い方を工夫して表す。 ・身近な場所のイメージなどをもとに、形や色彩、構図などの工夫を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。
1	7	絵の中をよく見ると ～探して、感じて、 語り合っ～	・構図や色彩などに着目し、印象などをとらえる。 ・描かれている人や情景、構図や色彩、作者の意図と工夫について考え、鑑賞する。
1	8 9 10	じっくり見ると 見えてくる ～特徴をとらえ、形や 質感を表す～	・形や色彩、質感などに着目し、何かに見立てたりイメージをとらえたりして、粘土や絵の具などを工夫して表す。 ・身近なものの特徴やイメージなどをもとに、形や色彩、質感などの工夫を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。
2	10	屏風・美のしかけ ～折り曲げて味わう ～	・構図、余白、折りによる空間や奥行き表現などに着目し、その効果をとらえる。 ・屏風の表現のよさや美しさ、余白や折りなどの作者の意図と工夫、美術文化について考え、鑑賞する。
2	11 12 1	広がる模様の世界 ～特徴をとらえて 構成する～	・自然物や人工物などの形や色彩の特徴に着目し、美しさなどをとらえ、材料や用具の扱い方を工夫して見通しを持って表す。 ・身近な自然物などの特徴やイメージ、使う場面などをもとに、形や色彩の構成の工夫をかんがえ、構想を練ったり鑑賞したりする。
2	1	自然の美しさから	・形の規則性や連続性、構造などに着目し、美しさや特徴、印象などをと

		生まれた ～暮らしを豊かに する形を考える～	らえる。 ・自然の造形を取り入れたデザインのよさや美しさ，作者の意図と工夫について考え，鑑賞する。
2	2 3	文字っておもしろい ～形や色彩の工夫で 楽しく伝える～	・文字や文字が意味するものの形や色彩に着目し，伝達するイメージをとらえ，絵の具などを工夫して見通しを持って表す。 ・文字の意味やイメージ，伝える場面をもとに，わかりやすさと形や色彩などの工夫を考え，構想を練ったり鑑賞したりする。

【評価の観点と方法】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・制作や授業での観察 ・アイデアスケッチ・構想や感想の発表 ・作品（制作の途中経過・提出状況も含む） 	<ul style="list-style-type: none"> ・制作や授業での観察 ・アイデアスケッチ・構想や感想の発表 ・作品（制作の途中経過・提出状況も含む） ・鑑賞レポート・感想等の発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の態度・準備物・自己評価 ・制作や授業での観察 ・アイデアスケッチ・構想や感想の発表 ・作品（制作の途中経過・提出状況も含む） ・鑑賞レポート・感想等の発表

【学習へのアドバイス】

（１）学習前の準備

・教科書や美術資料，絵の具，クロッキーブックなど，使用する準備物を忘れないようにしましょう。

（２）授業では・・・

・資料プリントなどは，美術ファイルに綴じておきましょう。

・授業中は私語などをせず，集中して制作に取り組みましょう。

・制作途中で教科担当に確認してもらい，より良い作品にするためのアドバイスをもらいましょう。

・鑑賞では，進んで自分の意見を発表し合い，お互いの考えや感じ方を共有しましょう。

（３）家庭では・・・

・制作が遅れてきた場合は，教科担当に許可を得た上で自宅制作等をして，遅れを取り戻しましょう。

令和5年度 年間計画・評価計画

教科	美術	学年	第2学年
----	----	----	------

【教科の目標】

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。

(2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

【年間指導計画】

学期	月	単元・題材	学習活動
1	4 5 6	視点の冒険 ～新鮮な見方で 風景を描く～	<ul style="list-style-type: none"> ・見上げる、見下ろす、近づくなど、視点の位置による見え方の違いに着目し、そこから生じる印象の変化をとらえ、絵の具などの特性を生かして表す。 ・視点の違いや構図の工夫によるイメージをもとに、構図などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。
1	6	なんでこれが美術なの ～感じて、考えて、 楽しむ～	<ul style="list-style-type: none"> ・物と場所、大きさ、形や色彩、制作の様子などに着目し、イメージをとらえる。 ・現代美術の美しさ、面白さなどをもとに、作者の意図と創造的な工夫などについて考え、鑑賞する。
1	7 8 9	ひと目で伝えるための 工夫 ～単純化・強調で情報を 整理する～	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物や行為を表す形の特徴などに着目し、伝達のイメージなどをとらえ、絵の具などの特性を生かし、見通しを持って表す。 ・伝えたい内容やイメージ、伝える場面などをもとに、形や色彩などによる伝達の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。
1	9	浮世絵はすごい ～構図や技法に 着目する～	<ul style="list-style-type: none"> ・構図や色彩、線、彫りや摺りの特徴に着目し、浮世絵の作風や印象などをとらえる。 ・浮世絵の表現のよさや美しさ、版画としての特性、制作者たちの意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造について考え、鑑賞する。
2	10 11 12	季節を楽しむ心 ～日本の美意識を とらえて～	<ul style="list-style-type: none"> ・自然や季節を感じさせる形や色彩に着目し、造形物の美しさをとらえ、材料や特性を生かし、見通しを持って表す。 ・季節感を取り入れた日本の伝統や、使う場面などをもとに、形や色彩、材料などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。
2	12	文化の出会いが もたらしたもの ～ジャポニズムを 通して考える～	<ul style="list-style-type: none"> ・構図や色彩、線などに着目し、日本美術の作風や印象がどのように生かされているかをとらえる。 ・ジャポニズムの表現の特色や美しさ、作者の意図と創造的な工夫、美術を通した国際理解、美術文化の継承と創造について考え、鑑賞する。
2	1	その一枚が人を動かす	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストレーションや写真、文字の形や色彩、構成などに着目し、

2 3	～イメージの力で 伝える～	<p>伝達するイメージなどをとらえ、絵の具などの特性を生かし、見通しを持って表す。</p> <p>・伝えたい情報やイメージ、伝える場面をもとに、形や色彩、写真やイラストレーション、文字による伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p>
--------	------------------	--

【評価の観点と方法】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・授業の態度・準備物・自己評価 ・制作や授業での観察 ・アイディアスケッチ・構想や感想の発表 ・作品（制作の途中経過・提出状況も含む） ・鑑賞レポート・感想等の発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・制作や授業での観察 ・アイディアスケッチ・構想や感想の発表 ・作品（制作の途中経過・提出状況も含む） ・鑑賞レポート・感想等の発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の態度・準備物・自己評価 ・制作や授業での観察 ・アイディアスケッチ・構想や感想の発表 ・作品（制作の途中経過・提出状況も含む）

【学習へのアドバイス】

（１）学習前の準備

・教科書や美術資料，絵の具，クロッキーブックなど，使用する準備物を忘れないようにしましょう。

（２）授業では・・・

・資料プリントなどは，美術ファイルに綴じておきましょう。

・授業中は私語などをせず，集中して制作に取り組みましょう。

・制作途中で教科担当に確認してもらい，より良い作品にするためのアドバイスをもらいましょう。

・鑑賞では，進んで自分の意見を発表し合い，お互いの考えや感じ方を共有しましょう。

（３）家庭では・・・

・制作が遅れてきた場合は，教科担当に許可を得た上で自宅制作等をして，遅れを取り戻しましょう。

令和5年度 年間計画・評価計画

教科	美術	学年	第3学年
----	----	----	------

【教科の目標】

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。

(2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

【年間指導計画】

学期	月	単元・題材	学習活動
1	4 5 6	今を生きる私へ ～自分に向き合って 表す～	・構図や顔の角度、表情やしぐさ、背景、色彩などに着目し、印象などをとらえ、絵の具や用具の特性を生かして表す。 ・心の内面や顔のイメージをもとに、構図や表情などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。
1	6	ルネサンスが 目指したもの ～人間をよく見てみる ～	・表情やしぐさ、構図や背景、明暗や色彩などに着目し、作風や印象などをとらえる。 ・ルネサンスの表現のよさや美しさ、作者の意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造について考え、鑑賞する。
1	7 8 9	空想は現実を超えて ～想像の世界を表す～	・具体物や抽象的な物の組み合わせ、構図や色彩に着目し、印象をとらえ、絵の具などの特性を生かして表す。 ・空想や心に広がる世界をもとに、形や色彩、描くものや配置などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。
1	9	あの日を忘れない ～美術の力を考える～	・物の組み合わせ、構図や色彩などに着目し、印象などをとらえる。 ・造形的なよさ、作者の訴えたいことや表現の意図と創造的な工夫、社会における美術の力などについて考え、鑑賞する。
2	10 11 12	イメージを追い求めて ～あなたなりの形で 表す～	・形や立体感、量感や動感、置かれている空間などに着目し、イメージなどをとらえ、材料や用具の特性を生かして表す。 ・表したいイメージをもとに、形や質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。
2	12	どこまで修復すべきか ～美術文化の継承を 考える～	・形や色彩、材料などに着目し、古いものの中にある美意識などをとらえる。 ・美術作品に受け継がれてきた美意識や、伝統や文化のよさなどを 感じ取り、美術文化の継承と創造について考え、鑑賞する。
2	1 2 3	魅力を伝える パッケージ ～中身や気持ちを 工夫して表す～	・形や色彩、質感などに着目し、意図やイメージをとらえ、材料や用具の特性を生かし、見通しを持って表す。 ・伝える目的や条件、中身のイメージをもとに、美しさや伝達の効果などを考え、構想を練ったり、鑑賞したりする。

【評価の観点と方法】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・授業の態度・準備物・自己評価 ・制作や授業での観察 ・アイデアスケッチ・構想や感想の発表 ・作品（制作の途中経過・提出状況も含む） ・鑑賞レポート・感想等の発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・制作や授業での観察 ・アイデアスケッチ・構想や感想の発表 ・作品（制作の途中経過・提出状況も含む） ・鑑賞レポート・感想等の発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の態度・準備物・自己評価 ・制作や授業での観察 ・アイデアスケッチ・構想や感想の発表 ・作品（制作の途中経過・提出状況も含む）

【学習へのアドバイス】

(1) 学習前の準備

- ・教科書や美術資料，絵の具，クロッキーブックなど，使用する準備物を忘れないようにしましょう。

(2) 授業では・・・

- ・資料プリントなどは，美術ファイルに綴じておきましょう。
- ・授業中は私語などをせず，集中して制作に取り組みましょう。
- ・制作途中で教科担当に確認してもらい，より良い作品にするためのアドバイスをもらいましょう。
- ・鑑賞では，進んで自分の意見を発表し合い，お互いの考えや感じ方を共有しましょう。

(3) 家庭では・・・

- ・制作が遅れてきた場合は，教科担当に許可を得た上で自宅制作等をして，遅れを取り戻しましょう。